

T&Dブル・ベア・ファンド (マネープール・コース)

第1期運用報告書 (全体版) (決算日 2016年12月19日)

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	2015年12月17日から2017年12月18日まで	
運用方針	安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	「マネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象とします。
	マザーファンド	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	株式への直接投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
	マザーファンド	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「T&Dブル・ベア・ファンド (マネープール・コース)」は、2016年12月19日に第1期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

<http://www.tdasset.co.jp/>

設定以来の運用実績、基準価額の推移等

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配 金	期 騰 落	中 率			
設 定 日 2015年12月17日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 1	
1 期 (2016年12月19日)	9,995	0	△0.1	—	—	0.9	

(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること、または指数を上回ることを目的として運用をしていないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率		
設 定 日 2015年12月17日	円 10,000	% —	% —	% —
12月末	10,000	0.0	49.5	—
2016年1月末	10,001	0.0	51.5	—
2月末	10,001	0.0	59.1	—
3月末	10,001	0.0	—	—
4月末	10,000	0.0	—	—
5月末	10,000	0.0	—	—
6月末	9,999	△0.0	—	—
7月末	9,998	△0.0	—	—
8月末	9,997	△0.0	—	—
9月末	9,997	△0.0	—	—
10月末	9,996	△0.0	—	—
11月末	9,995	△0.1	—	—
期 末 2016年12月19日	9,995	△0.1	—	—

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は設定日比。

(注) 設定日の基準価額には、当初元本を用いております。

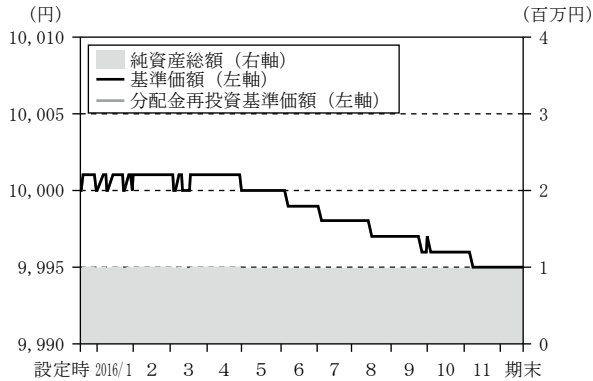
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること、または指数を上回ることを目的として運用をしていないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



設定日：10,000円

第1期末：9,995円（既払分配金0円）

騰落率：△0.1%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、設定日（2015年12月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いています。

■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主にコールローンおよび、「マネーアカウントマザーファンド」へ投資した結果、マザーファンドの基準価額変動と設定・解約および信託報酬の影響から、基準価額は下落しました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは低下しました。期初は△0.023%でしたが、2016年1月下旬に日銀がマイナス金利政策の導入を決定したことや、海外投資家の需要の高まりから、金利水準は大きく低下し、期末には△0.398%となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

コールローンおよび、「マネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象として、同マザーファンドを高位に組み入れました。残りの資産につきましてはコールローン等で運用を行いました。

■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
マネーアカウントマザーファンド	△0.0%

【マネーアカウントマザーファンド】

国庫短期証券の期初の組入比率は概ね55%程度としましたが、期中に利回りがマイナスとなったため組入れを見送り、3月下旬以降の組入比率は0%となりました。残りの資産については全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、分配対象収益がないため、見送らせていただきました。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

「マネーアカウントマザーファンド」の組入比率を高位に保ち、コールローンでの運用も継続する方針です。

【マネーアカウントマザーファンド】

日本経済は、景気の基調がしっかりしているとは言えず、今後も不安定な状況が続くと見られます。このような状況下では、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いと予想します。日銀が導入した「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は引続き低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、短期国債や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細（2015年12月17日から2016年12月19日まで）

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2015/12/17～2016/12/19		
	金額	比率	
平均基準価額	9,998円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	0円	0.001%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(0)	(0.000)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(0)	(0.001)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(0)	(0.000)	運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.001)	その他は、金銭信託に係る手数料
合計	0	0.003	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

売買および取引の状況 (2015年12月17日から2016年12月19日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネーアカウントマザーファンド	千口 896	千円 900	千口 —	千円 —

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2015年12月17日から2016年12月19日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況 (2015年12月17日から2016年12月19日まで)

設定時残高 (元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高 (元本)	取 引 の 理 由
千円 1,000	千円 —	千円 —	千円 1,000	当初設定時における取得

(注) 単位未満は切捨て。

組入資産の明細 (2016年12月19日現在)

親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	口 数	評 価 額
マネーアカウントマザーファンド	千口 896	千円 899

(注) マネーアカウントマザーファンド合計の受益権口数は1,418,480千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2016年12月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
マネーアカウントマザーファンド	千円 899	% 90.0
コール・ローン等、その他	100	10.0
投資信託財産総額	999	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年12月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	999,551円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	100,000
マネーアカウントマザーファンド(評価額)	899,551
(B) 負 債	2
そ の 他 未 払 費 用	2
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	999,549
元 本	1,000,000
次 期 繰 越 損 益 金	△ 451
(D) 受 益 権 総 口 数	1,000,000口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	9,995円

- (注) 設定時元本額 1,000,000円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 0円
- (注) 元本の欠損
 当期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は451円です。
- (注) 1口当たり純資産額は0.9995円です。

損益の状況

当期 自2015年12月17日 至2016年12月19日

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	△449円
売	
買	△449
(B) 信 託 報 酬 等	△ 2
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△451
(D) 合 計(C)	△451
(E) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(D+E)	△451

- (注) 損益の状況の中で
 (A) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
 (B) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)および費用控除後の有価証券売買等損益(0円)より、分配対象収益は0円(1万口当たり0円)となりましたので、当期の分配は見送らせていただきました。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位:円・%、1万口当たり・税引前)

項目	当期
	2015年12月17日 ～2016年12月19日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	—

- (注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

補足情報

マネーアカウントマザーファンドの主要な売買銘柄

公社債

2015年12月17日から2016年12月19日まで

買		付		売		付	
銘柄	柄	金額		銘柄	柄	金額	
第578回国庫短期証券		千円 60,004		第574回国庫短期証券		千円 60,000	

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

マネーアカウントマザーファンドの組入資産の明細

当期末における組入れはありません。

マネーアカウントマザーファンド

運用報告書（全体版） 第14期（決算日 2016年12月12日）
（計算期間 2016年6月11日から2016年12月12日まで）

「マネーアカウントマザーファンド」は、2016年12月12日に第14期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主要運用対象	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債先物比率	純資産総額
	円	騰落中率			
10期（2014年12月10日）	10,038	0.0	21.5	—	百万円 650
11期（2015年6月10日）	10,038	0.0	9.6	—	417
12期（2015年12月10日）	10,038	0.0	54.5	—	1,055
13期（2016年6月10日）	10,037	△0.0	—	—	1,019
14期（2016年12月12日）	10,033	△0.0	—	—	1,383

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率		債券組入比率 %	債券先物比率 %
		騰 落	率		
期首 (前期末) 2016年 6 月 10 日	10,037	—	%	—	—
6 月末	10,037	0.0	%	—	—
7 月末	10,036	△0.0	%	—	—
8 月末	10,035	△0.0	%	—	—
9 月末	10,035	△0.0	%	—	—
10 月末	10,034	△0.0	%	—	—
11 月末	10,033	△0.0	%	—	—
期 末 2016年 12 月 12 日	10,033	△0.0	%	—	—

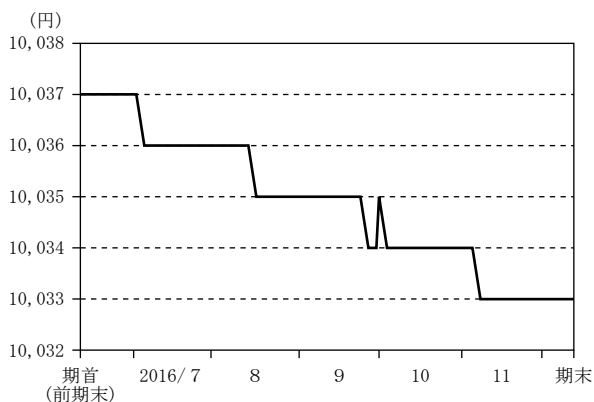
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の10,037円からスタートし、期末は10,033円となり下落しました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことから、下落となりました。

■ 投資環境

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは低下しました。期初は $\Delta 0.27\%$ 程度でしたが、2016年9月に日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の導入を決定するなど、短期金利を低位に抑える金融政策が継続したこと、海外投資家からの需要の高まりなどから利回りは低下し、期末は $\Delta 0.44\%$ 程度となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国債の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%となりました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、景気の基調がしっかりしているとは言えず、今後も不安定な状況が続くと見られます。このような状況下では、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いと予想します。日銀が導入した「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は引続き低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、短期国債や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2016年6月11日から2016年12月12日まで)

費用の明細

項目	当期	
	2016/6/11~2016/12/12	
	金額	比率
平均基準価額	10,035円	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.001% (0.001)
合計	0	0.001

(注) 費用項目につきましては、3ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

売買および取引の状況 (2016年6月11日から2016年12月12日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2016年6月11日から2016年12月12日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2016年12月12日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2016年12月12日現在)

項目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	1,423,137	100.0
投資信託財産総額	1,423,137	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年12月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,423,137,578円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,423,137,578
(B) 負 債	40,002,800
未 払 解 約 金	40,000,000
未 払 利 息	2,800
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,383,134,778
元 本	1,378,631,963
次 期 繰 越 損 益 金	4,502,815
(D) 受 益 権 総 口 数	1,378,631,963口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,033円

(注) 期首元本額 1,015,994,779円
 期中追加設定元本額 4,453,442,800円
 期中一部解約元本額 4,090,805,616円

(注) 1口当たり純資産額は1,0033円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
 T&D通貨トレード新興国社債F (毎月分配型) 円ヘッジコース 72,728,542円
 T&D通貨トレード新興国社債F (毎月分配型) 米ドルブルコース 12,370,307円
 T&D通貨トレード新興国社債F (毎月分配型) 米ドルベアコース 810,623円
 T&D通貨トレード新興国社債F (毎月分配型) ユーロブルコース 513,290円
 T&D通貨トレード新興国社債F (毎月分配型) ユーロベアコース 4,305,187円
 T&D通貨トレード新興国社債F (毎月分配型) 豪ドルブルコース 88,421,400円
 T&D通貨トレード新興国社債F (毎月分配型) 豪ドルベアコース 71,263円
 T&D通貨トレード新興国社債F (毎月分配型) レアルブルコース 22,699,483円
 T&D通貨トレード新興国社債F (毎月分配型) ルビアブル 735,756円
 T&D Jリートファンド限定追加型1402 1,196,351円
 T&Dブル・ベア・ファンド (南アランド・ブル・コース) 49,811円
 T&Dブル・ベア・ファンド (南アランド・ベア・コース) 49,811円
 T&Dブル・ベア・ファンド (ブラジルレアル・ブル・コース) 49,811円
 T&Dブル・ベア・ファンド (ブラジルレアル・ベア・コース) 49,811円
 T&Dブル・ベア・ファンド (インド株・ブル・コース) 49,811円
 T&Dブル・ベア・ファンド (インド株・ベア・コース) 49,811円
 T&Dブル・ベア・ファンド (中国株・ブル・コース) 49,811円
 T&Dブル・ベア・ファンド (中国株・ベア・コース) 49,811円
 T&Dブル・ベア・ファンド (原油指数・ブル・コース) 49,811円
 T&Dブル・ベア・ファンド (原油指数・ベア・コース) 49,811円
 T&Dブル・ベア・ファンド (米国リート・ブル・コース) 49,811円
 T&Dブル・ベア・ファンド (米国リート・ベア・コース) 49,811円
 T&Dブル・ベア・ファンド (マネーボール・コース) 896,593円
 リビング・アース戦略ファンド (年2回決算コース) 99,632円
 リビング・アース戦略ファンド (年4回決算コース) 99,632円
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ5 (インド・ダブルブル5) 19,931円
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ5 (インド・ダブルベア5) 19,931円
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ5 (中国・ダブルブル5) 19,931円
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ5 (中国・ダブルベア5) 19,931円
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ5 (レアル・ダブルブル5) 19,931円
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ5 (レアル・ダブルベア5) 19,931円
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ5 (金・ダブルブル5) 19,931円
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ5 (金・ダブルベア5) 19,931円
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ5 (マネーボール5) 1,172,926,724円

損益の状況

当期 自2016年6月11日 至2016年12月12日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 430,839円
支 払 利 息	△ 430,839
(B) そ の 他 費 用	△ 14,263
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	△ 445,102
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	3,779,419
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	15,397,200
(F) 解 約 差 損 益 金	△14,228,702
(G) 合 計 (C + D + E + F)	4,502,815
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	4,502,815

(注) 損益の状況の中で

(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(F)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。